KENWOOD

MP3/WMA対応CDレシーバー

E505

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

Help

? MP3/WMA
? Operation
? Word

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Designed for Windows Media™

© B64-2959-00/00 (JW)

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ?

取り付け方法など

付　録

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう！　オプションズ

Options

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

Help

? MP3/WMA　本機でプレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。

? Operation　思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word　取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

CD/MP3/WMAの操作
CD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

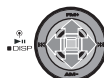
注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短く押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

１秒以上押す
１秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。

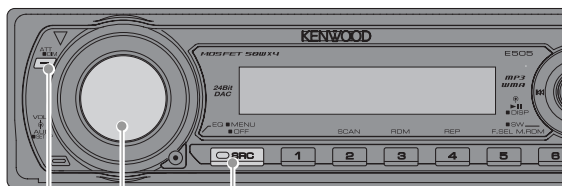
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

矢印の方向に押す
矢印の方向にジョイスティックを押すことを表します。

回す
ノブを回す（または左右に回す）ことを表します。

Functional Operation

ソースセレクション

KENWOOD
MOSFET 50W×4
E505
24Bit DAC
MP3 WMA
ATT DIM
VOL AUD SET UP
EQ MENU OFF
SCAN RDM REP
SW F.SEL M.RDM
DISP
SRC 1 2 3 4 5 6

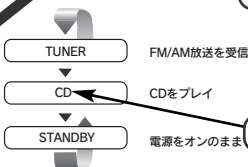
A B C

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

ソース選択
プレイするソースを切り替えます。

C
OFF
SRC

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

押すたびに次の順で切り替わ

TUNER	FM/AM放送を受信
CD	CDをプレイ
STANDBY	電源をオンのまま

内容の説明

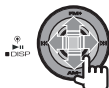
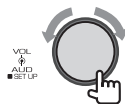
表示される文字または内容

ディマーコントロール
ディスプレイの明るさを設定します

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

A
1秒
DIM ON

トラックサーチ
プレイする曲を選びます。

D
DISP

ボリュームコントロール
ボリュームを設定します。

B
VOL AUD SET UP

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意
⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

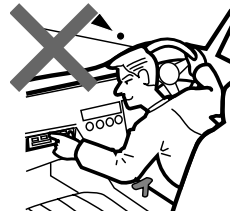
禁止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実施
❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

⚠警告

実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し　など）

実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

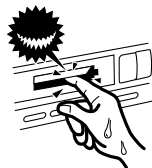
以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。
●音が出ない
●ディスプレイが表示されない
●異物が入った
●水がかかった
●煙が出る
●変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ディスクチェンジャーについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

"O-Nスイッチ"の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

別売品のCD/MDスイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

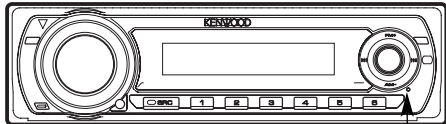
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

操作パネルの取り付けについて

操作パネルが取り外されているときは、ロックアームが突出しています。乗車中は必ず操作パネルを取り付けてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Operation」(42ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

シート

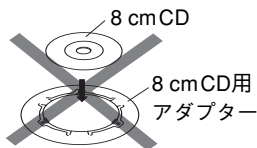
CD

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとはディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

8 cm CD

8 cm CD用
アダプター

本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

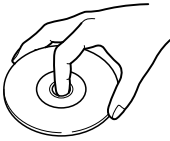
操作パネルのお手入れについて

本機や操作パネルの端子が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。

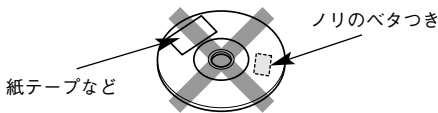
CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

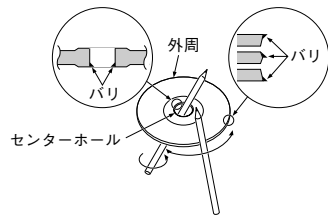
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

CDの保存

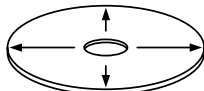
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

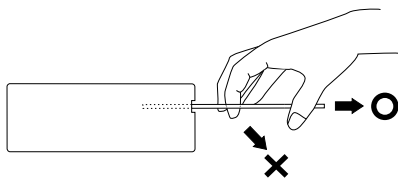
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

EZ Operation

CD/MP3/WMAのプレイは簡単！　ディスクを差し込むだけです。

音量を調整します。

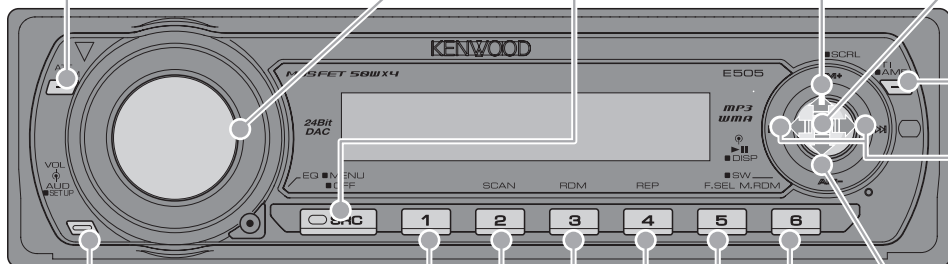
小さく　大きく

VOL
AUD
■SET UP

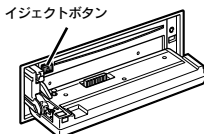
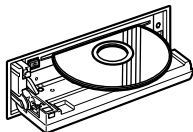
電源をオン/オフします。
押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。

CD/MP3/WMAのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
ディスクが入っているときに押すと、CD/MP3/WMA、FM/AM放送、STANDBYに切り替わります。

音量をすばやく小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

KENWOOD
MOSFET 50W×4
E505
24Bit DAC
mp3 wma
■SCRL
TI ■AME
►II ■DISP
EQ ■MENU ■OFF
SCAN　RDM　REP
■SW F.SEL M.RDM
VOL AUD ■SET UP
SRC　1　2　3　4　5　6

CD/MP3/WMAをプレイするには…
を押して操作パネルを開き、プレイするCD/メディアを差し込みます。差し込んだCD/メディアがプレイされます。

CD/メディアを取り出すには…
イジェクトボタンを押します。

イジェクトボタン

- プレイできるMP3/WMAのメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA」（38ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- CDが入っているときは、INインジケーターが点灯します。

注意　安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

FM放送バンド（FM1/FM2 ）を切り替えます。

次のMP3/WMAフォルダを選びます。

演奏を一時停止します。
もう一度押すとプレイします。

交通情報を受信します。
交通情報を受信中はTIインジケーターが点灯します。
もう一度押すと元に戻ります。

交通情報を受信中に音量を調整すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。

プレイする曲を選択します。

受信する放送局を選びます。
受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、メモリーしている放送局を順に受信するようにしたり、周波数を１ステップずつ変えたりできます。（20ページ）

交通情報の周波数を（1620KHz/1629KHz/522KHz）切り替えます。

AM1/AM2 放送バンドに切り替えます。

前のMP3/WMAフォルダを選びます。

メモリーされている放送局を選びます。
２秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。

ソースセレクション

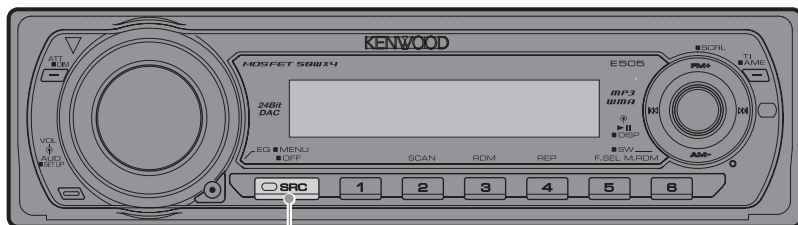
A

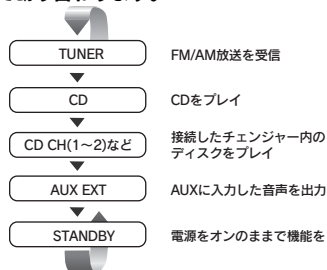
ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

A ■OFF SRC

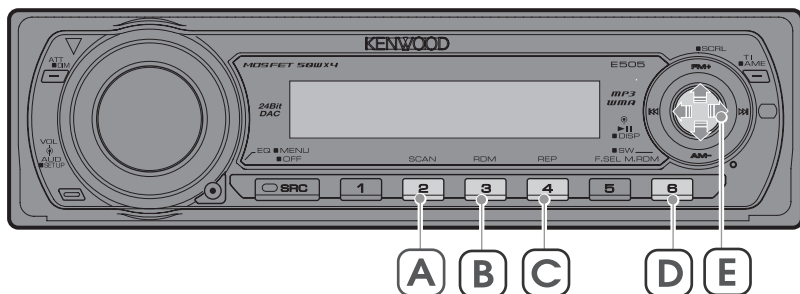
押すたびに次の順で切り替わります。

TUNER	FM/AM放送を受信
CD	CDをプレイ
STANDBY	電源をオンのままで機能を停止

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

TUNER	FM/AM放送を受信
CD	CDをプレイ
CD CH(1～2)など	接続したチェンジャー内のディスクをプレイ
AUX EXT	AUXに入力した音声を出力
STANDBY	電源をオンのままで機能を

- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
  “CD CH（1～2）” ：CDチェンジャー
  “MD CH（1～2）” ：MDチェンジャー
  “DISC CH（1～2）”：ディスクチェンジャー
  “HDD EXT” ：HDX-710（別売品）などの音楽ファイル（KSF）ソース
- AUX入力ソースモード（“AUX EXT”）を使用するためには、別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXが必要です。
- KCA-S210Aを使用すると、“AUX EXT”表示を「AUXネームセレクト」（33ページ）で替えることができます。
- MP3/WMAのメディアが挿入されているときは、CDモードを選択することにより、MP3/WMAファイルのプレイができます。

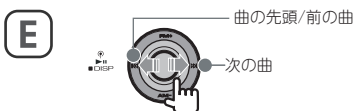
プレイするソースを切り替えます。

CD/MP3/WMA/Changer モード

A B C D E

トラック／ファイルサーチ
プレイする曲を選びます。

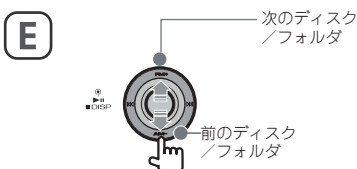
E

曲の先頭/前の曲

次の曲

ディスク/フォルダサーチ
(MP3/WMAメディア、ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。

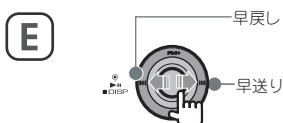
E

次のディスク／フォルダ

前のディスク／フォルダ

マニュアルサーチ
現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

E

早戻し

早送り

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

MP3/WMAファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。

トラック/ディスク/ファイル/フォルダリピートプレイ
現在聴いている曲またはディスク/フォルダ内の曲を繰り返しプレイします。

C [4]

押すたびに、次のようにオン/オフします。

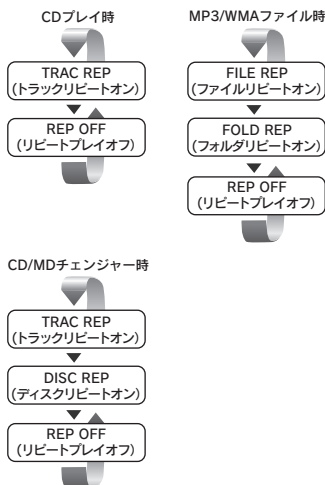
CDプレイ時

TRAC REP (トラックリピートオン)
REP OFF (リピートプレイオフ)

MP3/WMAファイル時

FILE REP (ファイルリピートオン)
FOLD REP (フォルダリピートオン)
REP OFF (リピートプレイオフ)

CD/MDチェンジャー時

TRAC REP (トラックリピートオン)
DISC REP (ディスクリピートオン)
REP OFF (リピートプレイオフ)

CDやMP3、WMA、別売品のディスクチェンジャー、CDプレーヤーでいろいろな機能を使ってプレイします。

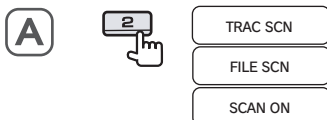
基本的なCD/MP3/WMAの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

トラック/ファイルスキャンプレイ

ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します

A 2

TRAC SCN
FILE SCN
SCAN ON

押すたびにスキャンプレイがオン／オフされます。

2 聴きたい曲のところで…

A 2

SCAN OFF

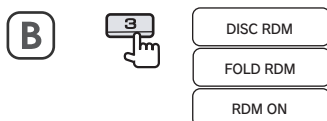
その曲からプレイされます。

すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

B 3

DISC RDM
FOLD RDM
RDM ON

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。

を►►I側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

D 6

MGZN RDM

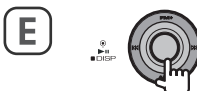
押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフされます。

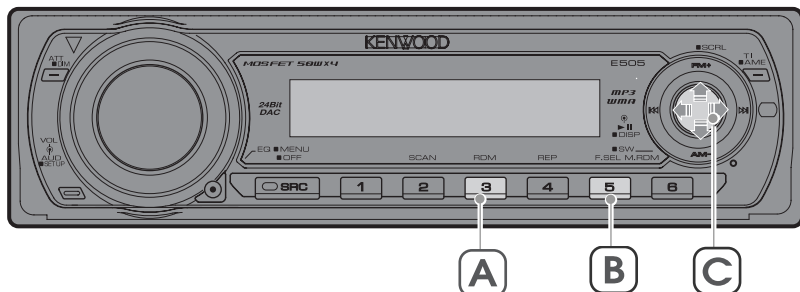
を►►I側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

E

►II DISP

もう一度押すとプレイを再開します。

CD/MP3/WMA/Changer モード

フォルダセレクト(MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMAの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします

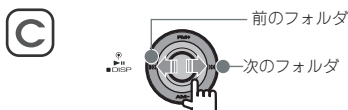
B 5

ディスプレイに以下の表示がされます。

フォルダネーム表示
フォルダネームを表示します。

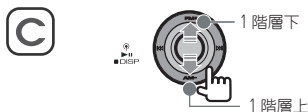
KENWOOD F

2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します

C 前のフォルダ 次のフォルダ

押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します

C 1階層下 1階層上

押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります（Root Jump）

A 3

現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(38ページ)を参照してください。

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…

C

フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダセレクトを中止するときは…

B

テキストスクロール

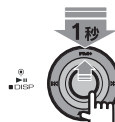
スクロール設定が"MANU"のときにテキストをスクロール表示します。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(22ページ)を参照してテキスト表示にします。

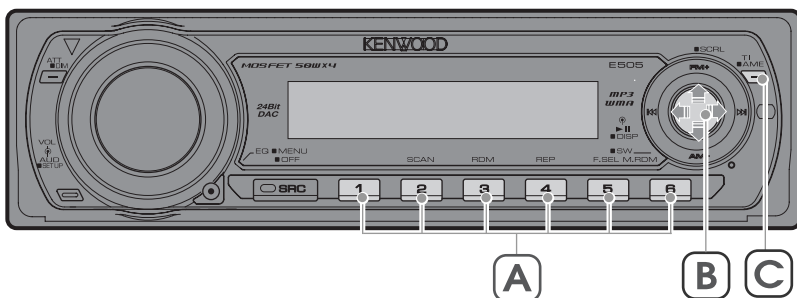
2 スクロール表示します

C

1秒

表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「SCL」(51ページ)を参照してください。
- スクロール設定を"AUTO"にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定の方法は、「メニュー設定」(28ページ)を参照してください。

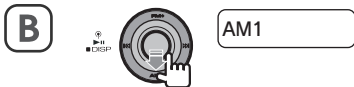
TUNER モード

A B C

バンド切り替え

FM1、FM2バンドに切り替えます。

B FM1

AM1、AM2バンドに切り替えます。

B AM1

受信しているバンドが表示されます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

B

チューニングモードがオート１のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート２のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。（メモリーの方法は「オートメモリー」または「マニュアルメモリー」をご覧ください）

チューニングモードがマニュアルのとき
押すたびに、周波数が１ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」（28ページ）で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTイジケーターが点灯します。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーを開始します

C 2秒 A-MEMORY

“A-MEMORY”表示になるまで押し続けます。

６局メモリーするか、周波数を１周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

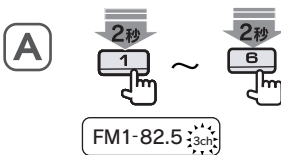
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

B

3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

A 2秒 1 ～ 2秒 6

FM1-82.5 3ch

ボタンナンバーが1回点滅表示するまで押し続けます。

プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

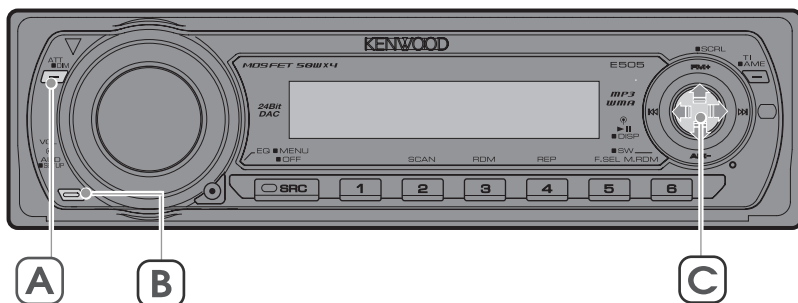
2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

A 1 ～ 6

FM1-82.5 3ch

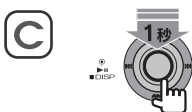
押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

ディスプレイコントロール

A B C

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイモードにします

C 1秒 DISP

"DISP SEL"の表示が出るまで押し続けます。

2 表示項目を選択します

C 逆送り 順送り

押すたびに次の順で切り替わります。

CDプレイ時（内蔵CDプレーヤー）
D-TITLE（ディスクタイトル）→ T-TITLE（トラックタイトル）→ P-TIME（トラックNo+演奏時間）→ CLOCK（時計）

MP3/WMAプレイ時
TITLE（曲名+アーティスト名）→ ALBUM（アルバム名+アーティスト名）→ FOLDER（フォルダ名）→ FILE（ファイル名）→ P-TIME（トラックNo+演奏時間）→ CLOCK（時計）

FM/AM受信時
FREQ（バンド+メモリーNo+周波数）→ CLOCK（時計）

交通情報受信時
FREQ（TI+周波数）→ CLOCK（時計）

STANDBY 時
SRC NAME → CLOCK（時計）

CD/MDプレイ時（外部ディスク）
D-TITLE（ディスクタイトル）→ T-TITLE（トラックタイトル）→ P-TIME（トラックNo+演奏時間）→ CLOCK（時計）

AUX EXT 時
SRC NAME（AUXネーム）→ CLCOK（時計）

- ディスク/トラックタイトル、曲名、アルバム名、ファイル名、フォルダ名が記録されていないディスクを再生中に上記の表示に切り替えると、トラックナンバーと演奏時間が表示されます。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- LXアンプ接続時は、LXアンプのディスプレイモードアイテムを表示できます。

3 ディスプレイモードを終了します

C DISP

ディスプレイ表示の設定をします。
また、パネルの取り外しもできます。

ディマーコントロール

ディスプレイの明るさを設定します。

A 1秒

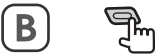
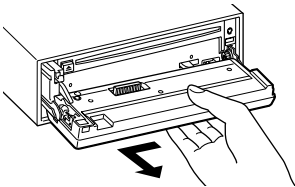
１秒以上押すたびに、ディマーがオン/オフします。
オン時はディスプレイが暗くなります。

ディマーコントロールは「メニュー設定」（28ページ）の“DIM”項目が“MANU”に設定されているときに可能です。

パネル取り外し

操作パネルを取り外します。

1 操作パネルを開きます

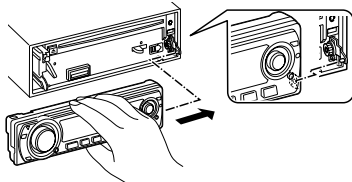
B

2 操作パネルを取り外します

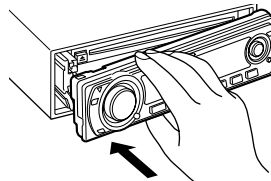
● 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。

● パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する恐れがあります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
● 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所
- 湿度が高い場所
- ほこりのかかる場所

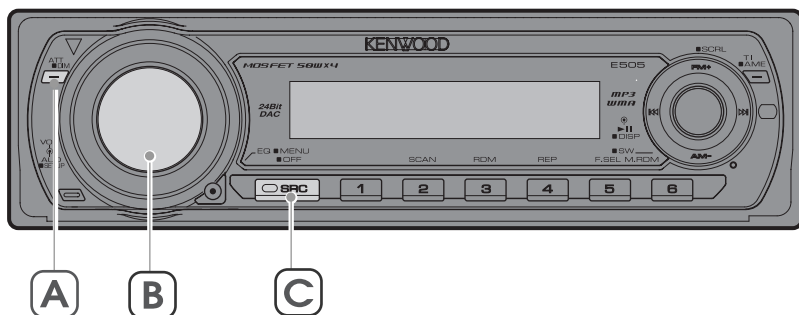
パネル取り付け

操作パネルを取り付けします。

1 操作パネルを合わせます

パネル右側の凹を本体右側の凸に合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。
パネルが取り付き、本機が使用可能となります。

オーディオコントロール

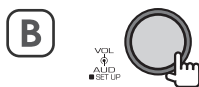
A B C

オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

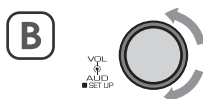
1 設定したいソースにします

C ■OFF SRC

2 設定する項目を選択します

B VOL AUD ■SET UP

押すたびに設定項目が切り替わります。

3 値を選択します

B VOL AUD ■SET UP

回すたびに設定値が切り替わります。

- “BAS L”、“MID L”、および“TRE L”の値は、各ソースごとに設定できます。
- “BAS L”、“MID L”、および“TRE L”の値は、「dB イコライザー」（27ページ）で設定した値に置き替えられます。
- “SW L”は「メニュー設定」（28ページ）の“SWPRE”項目を“SW”に設定してかつ,「サブウーファー出力設定」（27ページ）で“SW ON”にすると設定できます。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
SW L［サブウーファー出力レベル］	−15～15
BAS L［バス］（低音の音量レベル）	−8～8
MID L［ミッド］（中低音の音量レベル）	−8～8
TRE L［トレブル］（高音の音量レベル）	−8～8
BAL［バランス］（左右の音量レベル差）	L［左］15～R［右］15
FAD［フェダー］（前後の音量レベル差）	R［後］15～F［前］15

4 オーディオコントロールを終了します

A ATT DIM 以外

ATT DIM 以外のボタンを押します。

“FAD”調整しているときに…

B VOL AUD ■SET UP

音量バランスなどを調整します。

オーディオの詳細設定

オーディオコントロールで調整した項目の詳細を設定します。

1 設定する項目にします

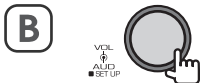
「オーディオコントロール」(24ページ) を参照して設定するオーディオコントロール項目にします。

2 オーディオの詳細設定モードにします

B 1秒 VOL AUD ■SET UP

"BAS F" 表示になるまで押し続けます。

3 設定したい項目を選択します

B VOL AUD ■SET UP

押すたびに設定項目が切り替わります。

4 設定値を選択します

B VOL AUD ■SET UP

回すたびに設定値が切り替わります。

- "BAS F"、"BAS Q"、"B EX"、"MID F"、MID Q"、および "TRE" の値は、「dB イコライザー」(27ページ) で設定した値に置き替えられます。
- *マークが付いた項目の詳しい機能については「Help ?Word」(49ページ) をご覧ください。

設定できる項目と値は次のとおりです。

BAS調整項目

設定項目	設定値
*BAS F (低音中心周波数)	40/50/60/70/80/100/120/150(Hz)
*BAS Q (低音クオリテイーファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
*B EX (低音中心周波数伸張)	OFF/ON

MID調整項目

設定項目	設定値
*MID F (中低音中心周波数)	0.5/1.0/1.5/2.0(kHz)
*MID Q (中低音クオリテイーファクター)	1.0/2.0

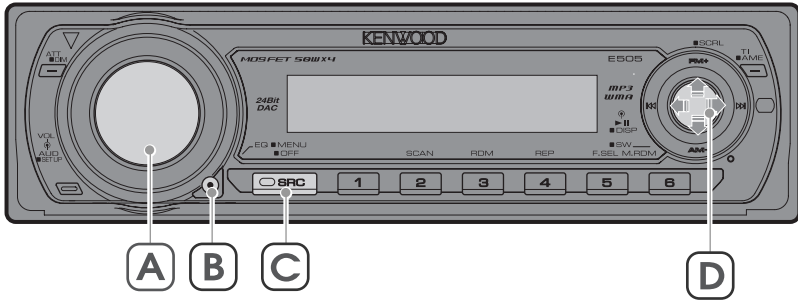
TRE調整項目

設定項目	設定値
*TRE (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0/17.5(kHz)

5 詳細設定モードを終了します

B 1秒 VOL AUD ■SET UP

オーディオコントロール

A B C D

オーディオセットアップ

音量バランスなどを設定します。

1 設定したいソースにします

C

2 オーディオセットアップモードにします

A

HPF

“HPF” 表示になるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

A

押すたびに設定項目が切り替わります。

4 値を選択します

A

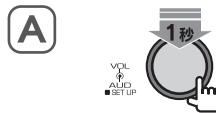
回すたびに設定値が切り替わります。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
*HPF［ハイパスフィルターフロント］（フロントの低音カット）	THRU 80/100/120/150/180
*HPR［ハイパスフィルターリア］（リアの低音カット）	THRU 80/100/120/150/180
*LPF［ローパスフィルター］（サブウーファー高音カット）	60/80/120 THRU
PHAS［サブウーファーフェーズ］（サブウーファー出力位相）	NML/REV
*V-OFF［ボリュームオフセット］（ソース間のレベル差）	−8〜0

- “V-OFF”（ボリュームオフセット）を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定することができます。
- “LPF” および “PHAS” は「メニュー設定」（27ページ）“SWPRE” 項目を “SW” に設定してかつ,「サブウーファー出力設定」（28ページ）で “SW ON” にすると設定できます。

5 オーディオセットアップを終了します

A

元のソース表示になるまで押し続けます。

dBイコライザー

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

1 設定したいソースにします

C　OFF SRC

2 dBイコライザーを選択します

B

一度押すと現在設定されている音質が表示されます。その後、押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

NATURAL　ナチュラル（初期設定値）
▼
USER　ユーザー
▼
ROCK　ロック
▼
VOCAL　ボーカル
▼
EASY　イージー
▼
DANCE　ダンス
▼
JAZZ　ジャズ

- dBイコライザーは各ソースごとに設定できます。
- “USER”は「オーディオコントロール」（24ページ）で調整した値です。
  dBイコライザーの設定を変えると「オーディオコントロール」で調整した値（“BAS”、“MID”、および“TRE”）はdBイコライザーの値に置き換えられます。

3 効果の強弱を選択します

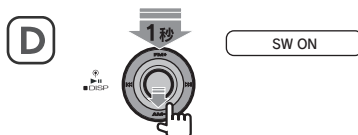
D　DISP

dBイコライザー表示中に押すとそのたびに、“HIGH”と“LOW”とに切り替わります。

- “NATURAL”または“USER”を選択中は切り替えられません。
- 3秒以上何も操作しないと、自動的に設定が終了します。

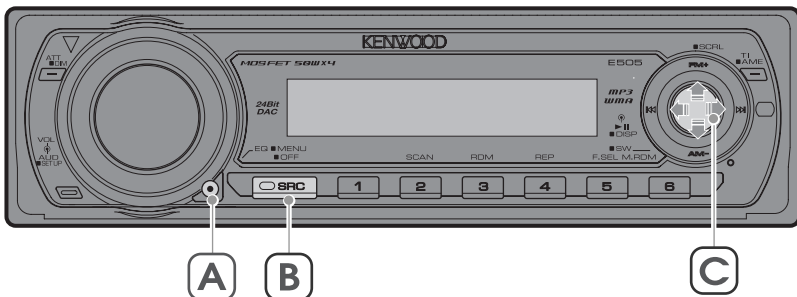
サブウーファー出力設定

サブウーファー出力のオン/オフを切り替えます。

D　1秒　DISP　SW ON

1秒以上押すたびに、サブウーファー出力がオン/オフします。

サブウーファー出力設定は「メニュー設定」（28ページ）の“SWPRE”項目が“SW”に設定されているときに可能です。

Menu Set

A B C

メニュー設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定する項目があるモードにします

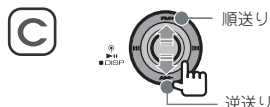
B ■OFF SRC

2 メニュー設定モードにします

A 1秒 MENU

“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

3 設定項目を選択します

C 順送り 逆送り

右表の順番で設定するメニュー項目が切り替わります。

- *マークが付いた項目の詳しい機能については「Help ?Word」（50ページ）をご覧ください。
- 右表の「条件」の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 設定値を選択します

C

設定できる項目と値は次のとおりです。

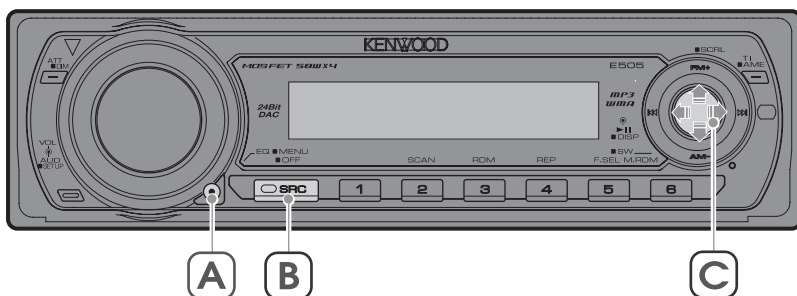
設定項目	設定値	条件
*SECURITY（セキュリティーコードの登録設定）	設定の方法は30ページをご覧ください。	STANDBYモード時
*BEEP（ビープ音）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
CLK ADJ（時計調整）	設定の方法は32ページをご覧ください。	STANDBYモード時
*DSI（盗難防止用警告ランプ設定）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
*DIM（表示点滅の手動または自動の設定）	**AUTO**/MANU	STANDBYモード時
*SWPRE（スイッチングプリアウト出力選択）	**R**/SW	STANDBYモード時
*AMP（内蔵アンプの出力設定）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
AMP CTRL（LXアンプコントロールの設定）	設定の方法は34ページをご覧ください。	LXアンプ接続時のみ
*AUTO/MANUAL（チューニングモード）	**AUTO1**/AUTO2/MANUAL	TUNERモード時
*MONO（モノラル受信設定）	ON/**OFF**	TUNER FMモード時
NAME SET（AUXネーム）	設定の方法は33ページをご覧ください。	AUXモード時
*SCL（テキスト表示のスクロール設定）	**AUTO**/MANU	すべてのモード時
*GUID（ナビ音声ガイド時のミュート設定）	**OFF**/ATT	STANDBYモード時
*CD READ（CD読み込み設定）	**1**/2	STANDBYモード時

（太字は初期設定値）

本機のいろいろな機能を設定します。

5 メニュー設定モードを終了します

Menu Set

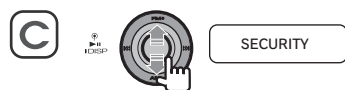
A B C

セキュリティコード
暗証番号を登録することにより盗難を抑制します

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

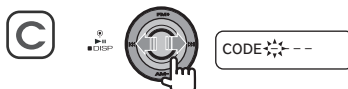
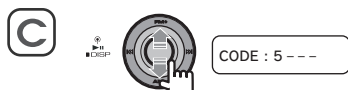
1 STANDBYモードにします
B — STANDBY

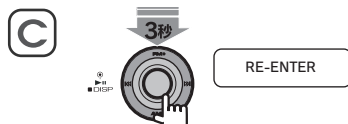
2 メニューモードにします
A（1秒） — MENU

"MENU" と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します
C — SECURITY

4 セキュリティコード入力を開始します
C（1秒） — ENTER

"ENTER" と表示されるまで押し続けます。

5 数字を入力する位置にカーソルを移動します
C — CODE – – –

6 数字を選択します
C — CODE : 5 – – –

7 5~6を繰り返して、4つの数字を入力します

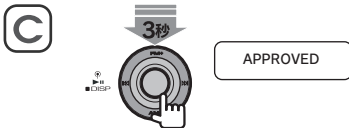
8 セキュリティコードを登録します
C（3秒） — RE-ENTER

"RE-ENTER" と表示されるまで押し続けます。

9 セキュリティコードを再入力します

ENTER：－－－－

確認のためセキュリティコードを手順５～７の方法で再度入力します。

10 セキュリティコードを確認登録します

3秒

APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。
セキュリティコードの登録が完了し、この機能がオンになります
セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

１回目と違うコードを入力すると、１回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

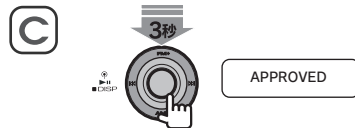
リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

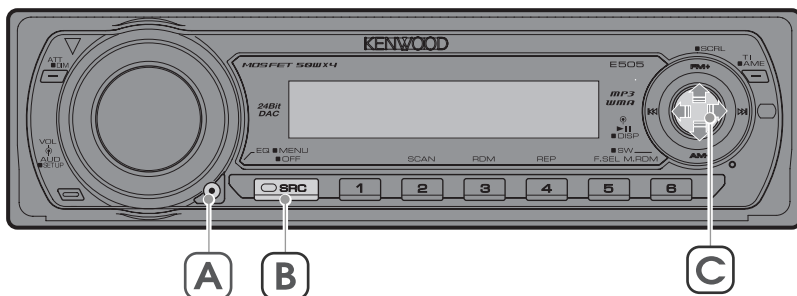
CODE:－－－－

セキュリティコードを手順５～７の方法で入力します。

2 セキュリティコードを確定します

3秒

APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。
本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、SRC を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

時刻合わせ

時刻を合わせます。

1 STANDBYモードにします

B SRC → STANDBY

2 メニュー設定モードにします

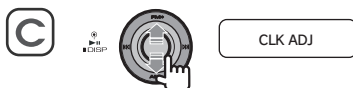
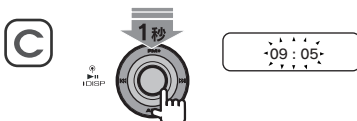
A 1秒 → MENU

“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

3 時計調整項目を選択します

C → CLK ADJ

4 時刻合わせを開始します

C 1秒 → 09 : 05

時計表示が点滅するまで押し続けます。

5 時刻を合わせます

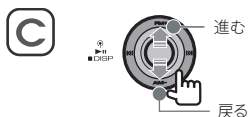
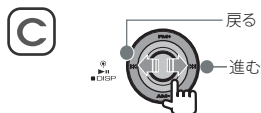
“時” を合わせます

C 進む / 戻る

“分” を合わせます

C 戻る / 進む

6 時刻合わせを終了します

A

分を調整したときは、“00” 秒からカウントがスタートします。

AUXネームセレクト

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXモードにします

B

■ OFF
SRC

AUX EXT

2 メニュー設定モードにします

A

1秒

MENU

“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

3 ネームセット項目を選択します

C

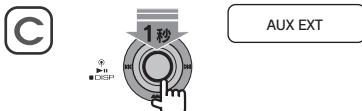
DISP

NAME SET

4 ネームセットモードにします

C

1秒

■DISP

AUX EXT

AUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 AUXネームを選択します

C

逆送り
順送り

押すたびに次の順で切り替わります。

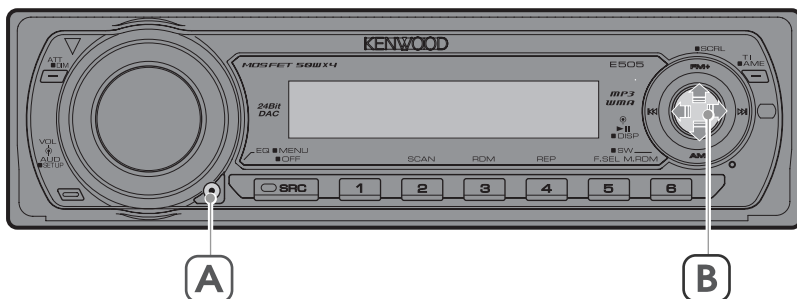
AUX EXT
▼
DVD
▼
PORTABLE
▼
GAME
▼
VIDEO
▼
TV

6 ネームセットを終了します

A

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX EXT”に戻ります。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」は設定できません。

A

B

LXアンプコントロール

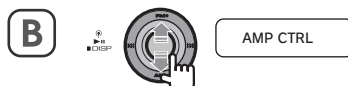
別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

1 メニューモードにします

A 1秒 MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

2 アンプコントロールモードを選択します

B AMP CTRL

3 アンプコントロールモードにします

B 1秒

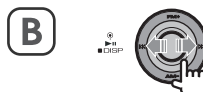
項目が表示されるまで押し続けます。

4 調整するアンプコントロール項目を選択します

B

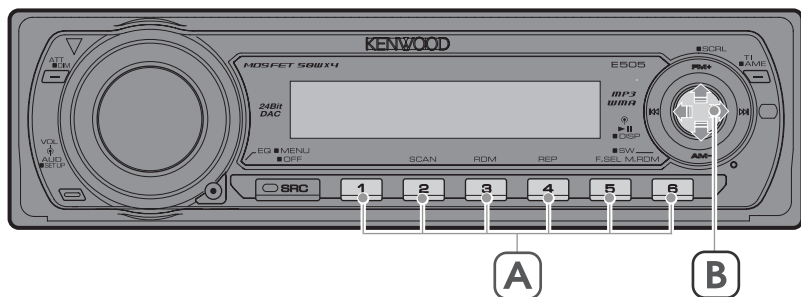
アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 アンプコントロール項目を調整します

B

6 アンプコントロールモードを終了します

A

LXアンプはSTANDBYモード中は操作できません。

TVコントロール

チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。

B

動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

ＴＶ放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。

B

押すたびにTVバンドの放送局とビデオ入力が切り替わります。

プリセットコール

ＴＶのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します

B

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

A 1 ～ 6

別売品のLX BUS TVモニター“HDX-710”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

1 バンドを選択します

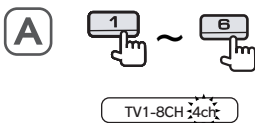
B

2 メモリーする放送局を選択します

B

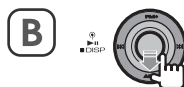
3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

A 1 ～ 6

TV1-8CH 4ch

ボタンナンバー表示が１回点滅するまで押し続けます。

音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。

B

Help ? MP3/WMA

**本機はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。指定のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
以下に記載されている制限文字数はいずれも1byte文字を使用した場合の文字数です。**

プレイできるオーディオファイル

本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3とWMAです。

禁止

- MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"または".WMA"の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
  MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"または".WMA"拡張子を付けないようにしてください。
- MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、".MP3"または".WMA"の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、".MP3"または".WMA"拡張子を付けて保存してください。
- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1, MPEG 2 Audio Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数
  ：8,11.025,12,16 ,22.05 ,24,32,44.1,48（kHz）
- ビットレート：8～320（kbps）

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：32,44.1,48（kHz）
- ビットレート：48～192（kbps）

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。（本機ではCD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。）

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は"128kbps"の"固定"を推奨します。
何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、"Disc at Once"の設定をしてください。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- ロングファイルネーム

表示できる最大文字数

ファイル/フォルダ名：64文字（Joliet:32文字）
ID3 Tag/ WMAコンテンツプロパティ：30文字

- ファイル名とフォルダ名に付けられる最大文字数には、区切り文字"."と拡張子3文字を含みます。
- 本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。WMAコンテンツプロパティは、曲名およびアーティスト名です。また、表示できる文字種は半角英数文字です（右表参照）。

ファイルとフォルダの構成制限

本機で再生できるファイルとフォルダの構成には以下の制限があります。

- **最大ディレクトリ階層：８階層**
- **１フォルダ中の最大ファイル数：255**
- **ファイルとフォルダの最大合計数：512**
- **最大フォルダ数：50**

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字で入力してください（右表参照）。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。
また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

表示できる文字

	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	–
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	■

MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例

1階層　2階層　3階層　4階層　5階層

フォルダ
MP3/WMAファイル
Root（ルート）

♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・・

押すボタン / プレイ中のファイルNo.	⏮	⏭
♪④	♪④の最初 ➧ ♪③	♪⑤ ➧ ♪⑥

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・・

押すボタン / 現在のフォルダNo.	AM	FM
4	3 ➧ 2 ➧ 1 ➧ 8 •••	5 ➧ 6 ➧ 7 ➧ 8 ➧ 1 •••

♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと・・・・

押すボタン / 現在のフォルダNo.	⏮	⏭	AM	FM
4	3	6	2	5

Help ? Operation

電源がオンにならない/すぐにオフしてしまう

原因	処置
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
●スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触して、プロテクション機能が働いている。	●スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

原因	処置
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●“FAD”(フェダー)や“BAL”(バランス)を正しく調整してください。(24ページ)
●ボリュームオフセットを設定している。	●“V-OFF”(ボリュームオフセット)を正しく調整してください。(26ページ)
●内臓アンプの出力設定がオフに設定されている。	●「メニュー設定」(28ページ)の“AMP”項目を“ON”に設定してください。

操作スイッチを押しても動作しない

原因	処置
内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

原因	処置
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

ディマーが操作できない/表示が暗くならない

原因	処置
●ディマーの設定が自動になっている。	●「メニュー設定」(28ページ)の“DIM”項目を“MANU”に設定してください。
●イルミネーションコードが正しく接続されていない。	●「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

原因	処置
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD CHに切り替わらない

原因	処置
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)

音が途切れる

原因	処置
CDをイジェクトしている。	CDのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音が出ます。

CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもCDに切り替わらない

原因	対処
ディスクがセットされていない。	プレイするディスクをセットしてください。

CDが入らない

原因	対処
すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。

CDのプレイ中に振動で音飛びする

原因	対処
●取り付け角度が30°を超えている。 ●取り付けが不安定になっている。	●30°以下になるように取り付けしなおしてください。 ●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

原因	対処
●CDが裏返しである。 ●CDが異常に汚れている。 ●結露している。 ●CDが内部的に検出されていない。	●レーベル面を上にして入れ直してください。 ●「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。 ●しばらく放置してから使用してください。(8ページ) ●リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

原因	対処
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

原因	対処
トラック/ファイルリピートがオンになっている。	トラック/ファイルリピートをオフにしてください。(16ページ)

曲の先頭しかプレイされない

原因	対処
トラック/ファイルスキャンプレイがオンになっている。	スキャンプレイをオフにしてください。(17ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

原因	対処
ディスクリピートプレイがオンになっている。	ディスクリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

曲が順にプレイされない

原因	対処
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

ディスクが順に演奏されない

原因	対処
マガジンランダムプレイがオンになっている。	マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

MP3/WMA File Control

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

原因	対策
ディスクに傷や汚れがある。	「CDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAディスク、MP3/WMAファイルがプレイできない

原因	対策
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（38ページ）に準拠したディスクを使用してください。
●MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。	●MP3ファイルには“.MP3”を付けて、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。
●ディスクに傷や汚れがある。	●「CDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。
●メニュー設定の“CD READ”項目が“２”に設定されている。	●メニュー設定の“CD READ”項目を“１”に設定してください。（28ページ）

MP3/WMAディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

原因	対策
MP3/WMAファイル以外に“.MP3”または“.WMA”拡張子が付いている。	MP3/WMAファイル以外に付いている“.MP3”または“.WMA”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

原因	対策
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（38ページ）に準拠したディスクを使用してください。
●ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	●ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。
●半角英数字以外の文字を使用して記録した。	●本機で表示できる文字は半角英数字のみです。（38ページ）

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

原因	対策
MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—

MP3/WMAディスクをプレイするまで時間がかかる

原因	対策
ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

原因	対策
プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD イジェクトボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

マガジンランダムができない

ディスクが１枚しか入っていない。

ディスクを２枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

● ファイナライズ処理を行っていない。

● CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

● CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

● CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

ディスクチェンジャーでトラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

ディスクチェンジャーモードを選択しても“AUX EXT”と表示される

● O-NスイッチをO側にしている。
● 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

● O-NスイッチはN側に設定してください。
● 本機に対応したディスクチェンジャーをお使いください。（８ページ）

ID3 Tag情報が正しく表示されない

● ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

● ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

● 半角英数字以外の文字を使用して記録した。

● 本機で表示できる文字は半角英数字のみです。（38ページ）

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリピート中などを除き、最初の曲からから最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

Audio Control

オーディオコントロールのサブウーファー項目が表示されない

- 「メニュー設定の “SWPRE” 項目が “R” に設定されている。
- サブウーファー出力設定がオフに設定されている。

- 「メニュー設定」（28ページ）の “SWPRE” 項目を “SW” に設定してください。
- 「サブウーファー設定」（27ページ）をオンにしてください。

Menu

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

無効な操作を以下のようにお知らせします。

TOC ERR ：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

E-12 ：演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

EJECT ：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

NO DISC ：ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

NO TRACK ：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。

BLANK ：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。

E-05 ：ディスクが裏返しになっている。

E-15 ：ディスクに本機で再生できるデータが入っていない。

NO PANEL ：別売品のユニットの操作パネルが外れている。
➡操作パネルを取り付けてください。

NA FILE ：サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。

COPY PRO ：●コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。
●Windows Media™ Audioの著作権保護ファイルです。

システムの状態を以下のようにお知らせします。

E-77 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD ：本機のCDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

E-99 ：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

IN（点滅） ：CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡⏏ボタンを押してCDを取り出してください。CDが取り出せないまたはCDを正しく入れ直しても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

CODE ：セキュリティーが動作している。
➡設定したセキュリティーコードを入力してください。

Help ? Word

共通

LX BUS TVモニター
(エルエックスバステレビモニター)
外部接続された別売品のテレビモニター（f-LZ77など）やナビゲーションシステム（HDX-710）です。

MP3
(エムピイスリー)
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本機にMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」（38ページ）をご覧ください。

MP3 ID 3 Tag
(エムピイスリーアイディスリータグ)
MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。本機ではファンクションセットの設定により曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報を表示することができます。詳しくは「Help? MP3/WMA」（38ページ）をご覧ください。

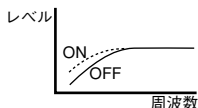
WMA
(Windows Media™ Audio)
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」（38ページ）をご覧ください。

交通情報：TI
(トラフィック インフォメーション)
高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。CDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

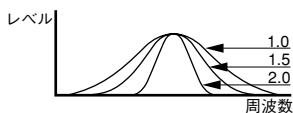
ディスクチェンジャー
外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520, KDC-C469など）、MDチェンジャーです。

オーディオコントロール

B EX
（バスエキステンデッド）
この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

レベル
ON
OFF
周波数

BAS F/MID F/TRE
（バスフリケンシィ/ミドルフリケンシィ/トレブルフリケンシィ）
低音、中音、高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

BAS Q/MID Q
（バスクォリティーファクタ/ミドルクォリティーファクタ）
低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。

レベル
1.0
1.5
2.0
周波数

dBイコライザー
（ダイナミックブーストイコライザー）
ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

ROCK：　スピーディーで力強いアタック音を再現します。
DANCE：　高域をメインにした華やかな音を再現します。
VOCAL：　中高域をメインにしたリズミカルな音を再現します。
JAZZ：　ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。
EASY：　中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

HPF/HPR
（ハイパスフィルターフロント／ハイパスフィルターリア）
サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF
（ローパスフィルター）
サブウーファー出力から高音を削除することができます。出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。
設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。
“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

V-OFF
（ボリュームオフセット）
オーディオセットアップで“V-OFF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

メニュー設定

AMP
（内臓アンプの出力設定）
フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。
内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティをアップさせることができます。

AUTO 1/2/MANUAL
（チューニングモード）
放送局の探し方を設定することができます。
AUTO 1：放送局を自動的に見つけ出します。
AUTO 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。
MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

BEEP
（ビープ）
SRCボタンを押したときや、ボタンを１～３秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ピッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

CD READ
（CD リード）
特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“CD READ 2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“CD READ 2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“CD READ 2”に設定するとMP3/WMAのプレイはできなくなります。通常は“CD READ 1”でお使いください。
CD READ 1： MP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
CD READ 2： 音楽CDとして強制的にプレイします

DIM
（ディマー）
この機能を“AUTO”に設定しておくと、車両のライトスイッチをオン/オフにしたときに、ディスプレイの明るさを切り替えることができます。
“MANU”に設定すると、操作パネルのボタンでディスプレイの明るさを切り替えることができます。

DSI
（ディセイブルシステムインジケーター）
この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

GUID
（ナビ音声ガイド）
本機にナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能を“ATT”にしておくと、現在聴いているソースの音量を一時的に小さくし、ナビゲーションの音声を聴きやすくするものです。

MONO
（モノラル）
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

SCL

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。
この機能を"AUTO"に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、"MANU"に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SECURITY

(セキュリティ)

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

SWPRE

(スイッチングプリアウト)

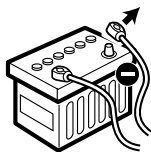
リアプリアウトをサブウーファー用出力("SW")に切り替えることができます。

取り付け時のご注意

⚠警告

禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。

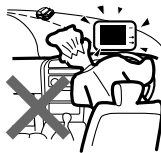
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

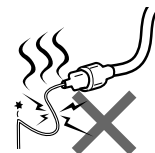
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

実 施

電源がオンにならない場合や、オンになってもすぐにオフになる場合は、スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触して、プロテクション機能が働いている可能性があります。このような場合はスピーカーコードの配線を確認してください。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

OK

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

実 施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、
ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

ディスクチェンジャー/CDプレーヤー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャー/CDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクチェンジャーケーブル（ディスクチェンジャーに付属）

ディスクチェンジャー/LX BUSユニットなど（別売品）

KENWOOD

- 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーに“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

ヒューズ（10A）（付属）

注 意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

左スピーカー
（緑） ⊖ <白／黒>
（緑） ⊕ <白>

右スピーカー
（橙） ⊖ <灰／黒>
（橙） ⊕ <灰>

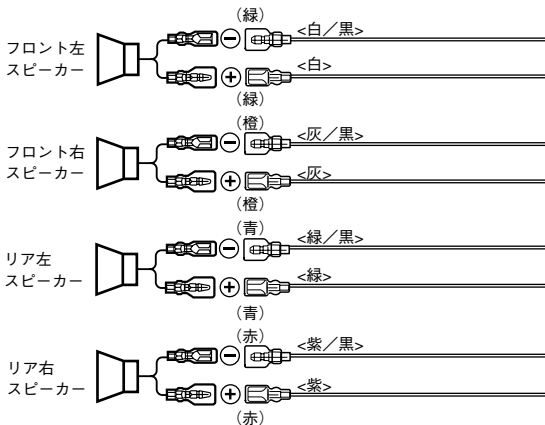
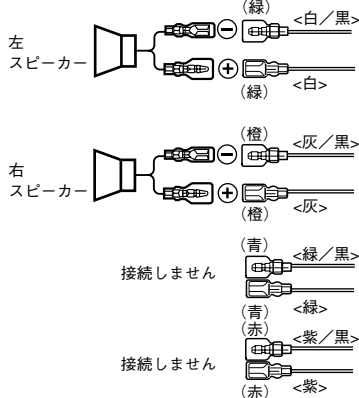
接続しません
（青） <緑／黒>
（青） <緑>

接続しません
（赤） <紫／黒>
（赤） <紫>

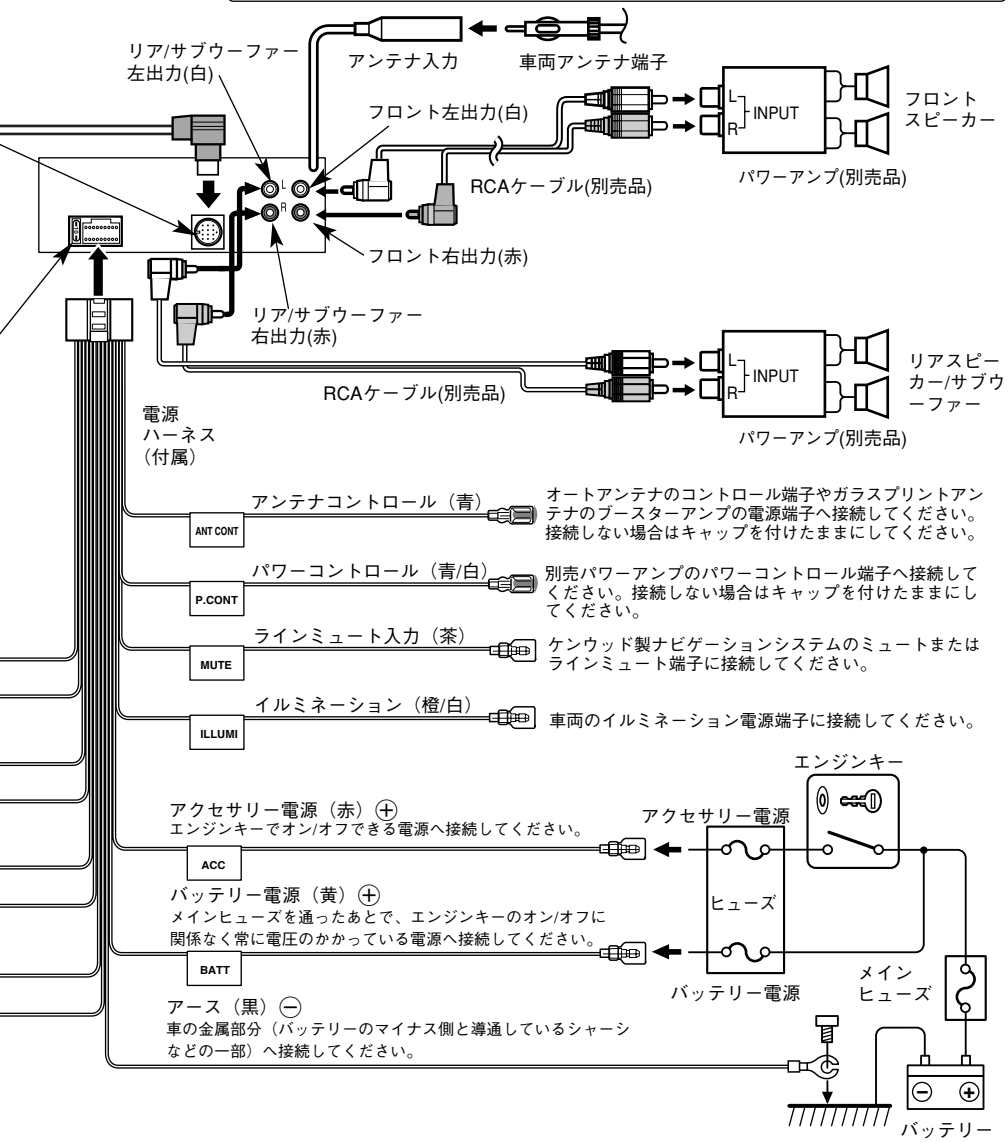
フロント左スピーカー
（緑） ⊖ <白／黒>
（緑） ⊕ <白>

フロント右スピーカー
（橙） ⊖ <灰／黒>
（橙） ⊕ <灰>

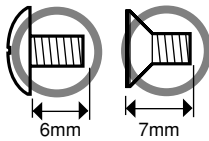
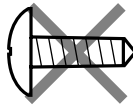
リア左スピーカー
（青） ⊖ <緑／黒>
（青） ⊕ <緑>

リア右スピーカー
（赤） ⊖ <紫／黒>
（赤） ⊕ <紫>

注 意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

ラインミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」（28ページ）の“GUID”項目を“OFF”に設定してください。

取り付け

付属のトラスネジ（M5×6mm）またはサラネジ（M5×7mm）4本を使用して
車両ブラケットなどに取り付けます。

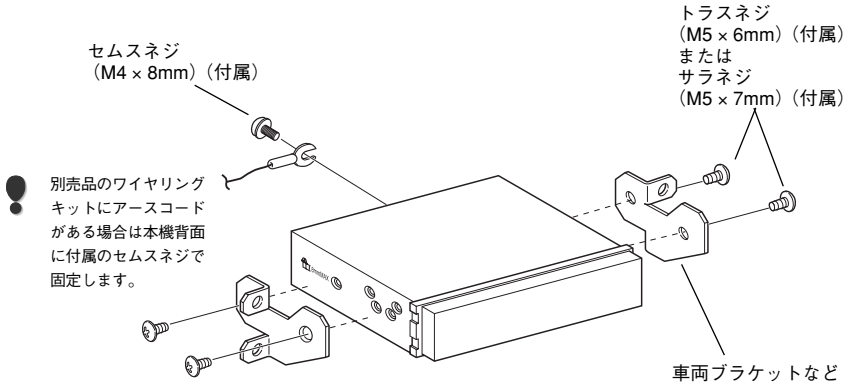
実施
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ
6mm
7mm
その他のネジ

付属ネジ一覧

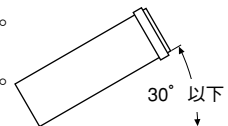
トラスネジ（M5×6mm）	4
サラネジ（M5×7mm）	4
セムスネジ（M4×8mm）	1

セムスネジ
（M4×8mm）（付属）

トラスネジ
（M5×6mm）（付属）
または
サラネジ
（M5×7mm）（付属）

車両ブラケットなど

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

注意
●本機の取付角度は30゜以下になるように取り付けてください。
30゜以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
●操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。
破損することがあります。

30゜以下

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは
「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）
- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAIAs
回転数	500～200 rpm（線速度一定）
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.008 % (1 kHz)
S/N比（dB）	110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W× 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	2000 mV/10 kΩ (CD/CD-CH)
プリアウトインピーダンス	600 Ω以下
トーン・コントロール（低音）	100Hz±10dB
（中音）	1kHz±10dB
（高音）	10kHz±10dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）	1.2 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	4本
サラネジ（M5 × 7mm）	4本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  電話　(045)933-5212、(06)6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます）
  FAX　(045)933-5553
  住所　〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
  受付時間　9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。